

平成29年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 理科 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		地球	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	野外観察の仕方を身に付けていること。			○		○	
②		(2)		地球	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	かぎ層について理解していること。				○	○	
③		(3)		地球	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	火成岩や堆積岩の特徴を考えて岩石を判断していること。		○				○
④	2	(1)		生命	中2	(3)ウ(イ)無脊椎動物の仲間	無脊椎動物には体のつくりの特徴に基づいて、いくつかの仲間が存在することを理解していること。				○	○	
⑤		(2)		生命	中2	(3)ウ(イ)無脊椎動物の仲間	節足動物の体の特徴を考えて判断していること。		○				○
⑥		(3)		生命	中2	(3)ウ(イ)無脊椎動物の仲間	無脊椎動物の体のつくりについて興味・関心をもっていること。	○					○
⑦		(4)		エネルギー	中1	(1)ア(ウ)音の性質	空気中を伝わる音の速さを計算によって導き出せること。			○		○	
⑧		(5)		エネルギー	中1	(1)イ(イ)圧力	実際の現象を、モデルに置き換えて実験する技能を身に付けていること。			○		○	
⑨		(6)		エネルギー	中1	(1)イ(イ)圧力	大気圧についての実験結果をモデルに置き換えて表現できること。		○				○
⑩	3	(1)		粒子	中2	(4)ア(ア)物質の分解	熱によって物質を分解する実験の技能を身に付けていること。			○		○	
⑪		(2)		粒子	中2	(4)ア(ア)物質の分解	物質の性質が異なることから、分解によって違う物質が生成したことを理解していること。				○	○	
⑫		(3)		粒子	中2	(4)ウ(ア)化学変化と質量の保存	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験の技能を身に付けていること。			○		○	
⑬		(4)		粒子	中2	(4)ウ(イ)質量変化の規則性	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験の結果を分析して解釈できること。		○				○
⑭		(5)		粒子	中2	(4)ウ(イ)質量変化の規則性	一定の質量の物質に反応する他の物質の質量には限度があることをグラフから読み取ることができること。		○				○
⑮		(6)		粒子	中2	(4)ウ(イ)質量変化の規則性	炭酸水素ナトリウムの分解についての化学反応式を理解していること。				○	○	
⑯	4	(1)		生命	中2	(3)イ(ア)生命を維持する働き	デンプンや糖の有無を実験結果と結びつけて考えることができること。		○				○
⑰		(2)		生命	中2	(3)イ(ア)生命を維持する働き	実験結果をデンプンと糖の分子モデルに置き換えて考えることができること。		○				○
⑱		(3)		生命	中2	(3)イ(ア)生命を維持する働き	栄養分が小腸の壁から吸収されることを実験結果と結びつけて考えることができること。		○				○
⑲		(4)		生命	中2	(3)イ(ア)生命を維持する働き	細胞の呼吸について理解していること。				○	○	
⑳		(5)		生命	中2	(3)イ(ア)生命を維持する働き	食物が消化・吸収される仕組みを理解し、日常生活と関連付けようとしていること。	○					○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。